

出張報告書



令和7年2月14日

尼崎市議会議長 様

会 派 名

公 明 党

代表者氏名

前 迫 直 美

出張者氏名

東 浦 小 穂 子
田 中 俊 幸

眞 田 泰 秀
中 村 敦 子

このたび、出張しましたので、次のとおり報告します。

1 出 張 期 間 令和7年2月6日から令和7年2月6日まで

2 結果の概要

用務先 千代田区	報告事項 (この欄には要点を箇条書きにし詳細事項がある場合は別紙添付) ・環境再生資源循環局 プラスチック資源循環室 井上室長との面談
添付書類 ■視察報告書	備 考

3 届出事項の変更等 ☒ な し ☐ あ り (内容は裏面に記載)

旅 費 の 精 算

☒ 精算額は、令和7年2月3日届け出た額 (128,320 円) と同一額である。

☐ 届出事項の変更等により、別途精算する。(精算額は裏面に記載)

(裏面)

届出事項の変更等の内容

変更等の事項と理由

支 出 額	
精 算 額	
支出 差引 額 戻入	

変更前と後の日程

月	日	日	日	日	日	日	日
前 発着地							
後							
前 経 路							
後							
前 用務先							
後							
前 宿泊先							
後							

【視察報告書】

日時:2025年2月6日(木)

視察先:環境省

視察内容:環境再生・資源循環局 プラスチック資源循環室 井上室長との面談

報告者: 中村 敦子

参加者:公明党 眞田 泰秀

東浦 小夜子

田中 俊幸

中村 敦子

代表者: 前田 直美

【目的】

尼崎市は公害の街というイメージを払拭し、「環境モデル都市」として平成24年に選定され、その後、令和3年6月に「尼崎市気候非常事態行動宣言」を表明し脱炭素社会の実現に向けて取組を進めています。

公明党尼崎市議団としてその取組みをさらに推進すべく

循環型社会の実現に向けた様々な施策を具現化するための意見交換会

【調査項目】

キャップリサイクルにあたって留意点

今後のプラスチック、キャップリサイクルの再製品化展望

実証事業である先進的モデル形成支援事業の公募

について

【今後の取組】

ボトル本体と異なり捨てられがちなキャップ

循環型社会の構築の観点から

ペットボトルの本体だけでなく、キャップもリサイクル

できる環境づくりが必要

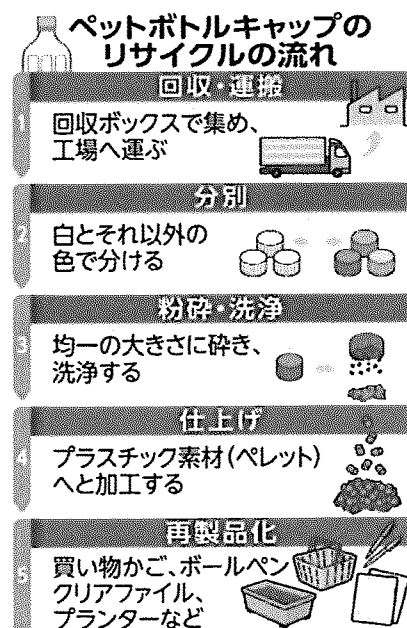
持続可能な取組にするためにも3点

質・量・コストの取組が必須

分別の作業を高齢者生きがい就労事業

へと発展させたい

ペットボトル、キャップ もリサイクルを



【感想】

限りある資源、環境政策にも積極的に取り組まなければならない

実証事業や誰でも参加しやすい

ペットボトルキャップを回収することで

キャップはゴミではなく資源であること

また循環型社会への意識向上に寄与

することにもなり、3R+リスペクトの概念に

取り組んでいきたい。

